

# 令和8年度学校経営計画

学校名 東広島市立平岩小学校

学校長名 平 林 明 美

## I 学校の状況

学級数	23学級	児童・生徒数	499名	教職員数	40名
メールアドレス	hiraiwa-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/hiraiwa_sho/				

## II 教育目標

「かしこく やさしく つよく」生きる子どもの育成

## III 経営理念（ミッション・ビジョン）

平岩小で学んでよかったと思える学校の創造

- 【めざす学校像】 認め合い 笑顔で活力のあふれる学校
- 【めざす児童像】 学び合い 知・徳・体のバランスのとれた子ども
- 【めざす教職員像】 人間性と指導力を学び合い、一人一人と向き合う教職員

## IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
かしこく	1	主体的に考え、表現する子ども	主体的・対話的で深い学び」を創る授業実践の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「個別の課題追究」と「学び合い」を工夫した単元構成</li> <li>○社会科・国語科における問いを重視した授業実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとめ、振り返りの評価がB評価以上の児童80%以上</li> <li>○児童アンケートの肯定的評価80%以上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的</li> <li>・学び合い</li> </ul> </li> </ul>
			基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT(学習ソフト)を活用した学習の定着</li> <li>○朝学習の充実</li> <li>○家庭学習の習慣化</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元テスト(国語・算数)における平均点80点以上を全テストの8割以上</li> </ul>
やさしく	2	人の気持ちが分かる子ども	人に対する言葉・行動を磨く取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活委員会・保護者・地域によるあいさつ運動の推進</li> <li>○あったか言葉(感謝)の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童・保護者アンケート肯定的評価80%以上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・人の気持ち</li> </ul> </li> </ul>
			支持的風土のある学級づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支持的風土を育む取組</li> <li>○目標をもって生活する取組</li> <li>○身の回りの整理・整頓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○SSTの実施100%</li> <li>○児童アンケート肯定的評価80%以上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活目標</li> </ul> </li> </ul>

つよく	3	最後までやりぬく子ども	運動に対する意欲の向上	○体育科の学習において「体づくり運動」か「基本的な動き」を取り入れた授業づくり ○「平岩マラソン」や「なわとび」等の業間体育の実施	○児童アンケートの肯定的評価を80%以上 ・体を動かすこと好き ・体を動かしている
			基本的な生活習慣の確立	○生活習慣を整える（メディアに対する意識の啓発）	○メディアコントロール週間の実施（年3回）
信頼される学校	4	信頼される学校づくりと高まり合える教職員	家庭・地域との連携	○学校教育活動や学校運営協議会における情報発信 ○組織的な報告・連絡・相談体制の充実	○保護者アンケートの肯定的な評価 85%以上 ・情報提供 ・連携
			効率的な業務の推進と子どもと向き合う時間の確保	○企画委員会、学年主任会における計画的な提案 ○時間外勤務の縮減を意識し見通しをもった働き方 ○授業時数を踏まえた計画的な授業実施	○教職員アンケートの肯定的な評価 85%以上 ・学び合い ・児童と向き合っている

## V 学校評価

### 1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

#### (1) 校内評価委員会

（校長・教頭・教務主任・研究主任・生徒指導主事・保健主事・その他校長が必要と認める職員）

#### (2) 学校運営協議会

（住民自治協議会委員・地域センター長・民生委員児童委員・PTA会長・PTA副会長・元校長・磯松中学校長・地域学校協働活動推進委員、本校校長、本校教頭、CS推進委員）

### 2 学校評価自己評価及び学校運営協議会の実施計画（公表方法を含む）

月	内容
4	・学校評価自己評価表作成（全教職員で学校評価自己評価表についての共通理解を図るとともに、業績評価とリンクさせ、目標を明確に持たせる。）
5～6	・業績評価（当初申告）面談 ・第1回学校運営協議会（学校経営方針の説明と意見交換）
7～9	・児童・保護者アンケート1回目実施 ・評価結果を各部で分析、後期の改善策を考える。学校評価委員会（校内）を経て全教職員へ周知する。保護者・地域へ学校だより・ホームページで公表する。 ・第2回学校運営協議会（経過を報告と意見交換）
10	業績評価（中間申告）面談
1～2	・児童・保護者アンケート2回目実施 評価結果を各部で分析、成果と課題を明確にして次年度に向けて計画を立案する。 て計画を立案する。校内評価委員会を経て全教職員へ周知する。 ・第3回学校運営協議会（評価結果を報告し、次年度の学校経営に向けての意見交換） ・業績評価（最終申告）面談
3	・1年間の学校評価自己評価結果と今後の方向性を、保護者・地域に学校だよりやホームページを通して公表する。